

利用者のQOL向上を目指すアクティビティ・ケアで介護に笑顔を！！

第5回 東北アクティビティ・ケア フォーラム in 盛岡

日程 11月6日(日)



「その人らしい暮らし」を創造するアクティビティ・ケア

第15回 アクティビティ インストラクター 資格認定セミナー in 盛岡

日程 11月5日(土)

会場 福祉交流施設ふれあいランド岩手

【共催】 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

【後援】 一般社団法人岩手県社会福祉士会 一般社団法人岩手県介護福祉士会

一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人岩手県作業療法士会

一般社団法人日本認知症ケア学会

※日本作業療法士協会SIG認定「基礎ポイント：1ポイント」

日本認知症ケア学会「認知症ケア専門士：3単位」(フォーラムのみ)

作業療法士
認知症
ケア専門士

単位申請の
対象となります



主催・資格認定機関

高齢者アクティビティ開発センター

〒165-0026 東京都中野区新井 2-12-10 芸術教育研究所内
TEL 03-3387-5461 FAX 03-3228-0699

アクティビティインストラクター 資格認定セミナー in 盛岡

【日程】 2016年11月5日(土)
【時間】 10:00~16:15 (9:30より受付開始)
【受講料】 8,300円
 (テキスト「高齢者の楽楽アクティビティ・ケアの進め方」付き)

【定員】 70名
【対象者】 介護福祉士、作業療法士、理学療法士、看護師、保育士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、ケアマネジャー、生活相談員、施設長、ホームヘルパー、学生、ボランティア、家族介護など、対象者のQOL向上を目指す方。

※日本作業療法士協会 SIG 認定「基礎ポイント：1ポイント」



【タイムスケジュール】

1日(5時間)受講すると資格認定されます。

9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
受付	講義・交流学习	昼休み	実技・実践報告	認定式



初級 アクティビティ・ケアで 利用者のQOL向上を目指す生活支援

QOL向上のための生活支援

- ・自己実現のための6大ケアとは
- ・「心の栄養補給」を促す支援とは
- ・認知症ケアに役立つ事例を学ぶ

多職種連携とコミュニケーション

- ・利用者のニーズを知るのに必要なこと
- ・「心を動かす」アクティビティとは
- ・「遊び」を通じたコミュニケーション実践

資格取得後も継続学習

- ・全国4か所でフォーラムを開催
- ・スタディツアーの開催
- ・ゼミナール・勉強会の開催

講義内容

【講義】利用者の文化的な暮らしを支える視点を学ぶ

アクティビティ・ケアの基礎理論

高齢者の心を豊かにし、QOL向上を目指す「アクティビティ・ケア」とは何かを学ぶ。

全国・海外施設での アクティビティ・ケアの実践

全国や海外での施設の事例を通し「アクティビティ・ケア」の実践方法を学ぶ。



【実践】現場で役立つアクティビティ・ケア実践

アクティビティ・ツールの 制作・実践

身近な素材で要介護者も楽しめるアクティビティ・ツールを制作、活用する。

アクティビティ・ケア事例報告

現場での実践報告から、利用者の生活歴に寄り添い、達成可能なニーズを引き出し、生きがいを見出す生活支援について学ぶ。



【交流】利用者のニーズを引き出すコミュニケーション

「心と身体を動かす」 コミュニケーション体験

アクティビティ・トイが、いかに機能訓練やコミュニケーションを活性化するか体験する。

多職種連携のための コミュニケーション理論と実践

誰もが業務の中で実践できるコミュニケーションスキルを磨くポイントを学ぶ。



講師紹介

多田千尋 (ただ ちひろ)

高齢者アクティビティ開発センター代表、芸術教育研究所所長、東京おもちゃ美術館館長、早稲田大学講師、お茶の水女子大学講師。日本福祉文化学会理事。

要介護高齢者・障害者を対象とするアクティビティ・ケアに関する人材養成、書籍の執筆、遊びや遊具を活用した介護予防の実践研究などを通して、世代間交流の研究と実践に取り組む。

また、東京おもちゃ美術館の10万人の入館者を集める経営手法が評価され、経済専門誌から「日本の社会起業家30人」の一人に選ばれる。

著書：「遊びが育てる世代間交流」(黎明書房)、「ボケないレッスン」(晶文社出版)など多数。

アクティビティ ディレクター実践報告者紹介

梅澤久美子

(社会福祉法人若竹会 ワークプラザみやこ 介護福祉士)
 利用者の意欲を引き出すアクティビティ・ケアの実践

桂 裕二

(社会福祉法人釧路創生会介護老人保健施設老健たいよう 作業療法士)
 利用者の生きがいにつながるアクティビティ・ケアの実践

受講生の声

- ◆アクティビティの持つ意味の大きさを見直すことができた。利用者の意欲を引き出し、介護する側、される側お互いに本当の意味でのコミュニケーションを目指したい。
 岩手県 特別養護老人ホーム勤務 介護福祉士 男性
- ◆「人は心を動かさないと体は動かない」と日頃、仕事を通して感じていたが、今回の研修で確信が持てた。利用者がわくわくできる場になるよう考えていきたい。
 岩手県 デイサービスセンター勤務 理学療法士 女性

東北アクティビティ・ケア フォーラム in 盛岡

【日程】 2016年11月6日(日)

【参加費】 高齢者アクティビティ開発センター会員
アクティビティ インストラクター
アクティビティ ディレクター
おもちゃコンサルタント

2,000円

【時間】 10:00~16:30 (9:30より受付開始)

【定員】 100名

一般：2,500円
学生：1,500円

【プログラム】

10:00 **基調提案 「その人らしい暮らし」を創造するアクティビティ・ケア**

多田千尋 (高齢者アクティビティ開発センター 代表)

「その人らしい暮らし」とは、その人自身が積極的に自分の人生を選択し、社会と関わりながら生きていくことだと考えます。多彩な実践からアクティビティ・ケアの必要性について考えます。



10:20 **記念講演 アクティビティ・ケアで利用者さんの「したい」を「できる」へ!**

桂 裕二 (社会福祉法人釧路創生会 介護老人保健施設老健たいよう 次長/作業療法士/アクティビティ ディレクター)

認知症の人と接する際、障害された機能に目を奪われがちですが、残存能力に注目し、対象者のあきらめ、失われがちな自立への意欲を少しずつ引き出していく視点が必要です。重度認知症の方に「プラスの専門家」として関わり、「その人らしい暮らし」を実践できた事例をお話しします。



11:20 **ディスカッション 「心が動けば身体が動く」利用者の意欲を高めるアプローチとは**

実践報告：遊佐真理子 (リハビリパークあやめ 作業療法士/アクティビティ インストラクター)

介護老人保健施設の事例を基に、対象者が意欲的に取り組める環境作りについて考えます。

12:15 昼食休憩

13:15 **分科会1 (A・Bどちらかを選択し、申込書にご記入ください)**

**A：室内でも楽しめる！
園芸アクティビティ**

アクティビティ実践

清水俊英

(サカタのタネ アクティビティ ディレクター)

植物の色、香りなどを感じリラックス効果が得られると人気の園芸アクティビティ。園芸経験者も、これから始める方にも楽しめるアクティビティをご紹介します。



**B：食を楽しむ！
食事から その人らしい暮らしを考える**

トークセッション

大沢和義

(てまるプロジェクト 代表 アクティビティ インストラクター)

美しく使い易さを考慮したてまるの器。食事の環境を整えることにより食べる行為が楽になり、会話も弾みます。その人らしく暮らすことを食事を通して考えます。



14:15

14:30 **分科会2 (C・Dどちらかを選択し、申込書にご記入ください)**

**C：ぬり絵をアートに！
楽しみながら創造性を高めるアート実践**

アクティビティ実践

ささきさちこ

(笑てがみ倶楽部主宰 アクティビティ ディレクター)

創作過程を楽しむと共に、美しく仕上がったぬり絵は、利用者の自信回復、達成感につながります。オリジナルのぬり絵を活用して利用者の意欲を高める工夫を学びます。



**D：心が動けば身体が動く
ふまねっと・ブローライフル実践**

トーク & 実践

桂 裕二 (老健たいよう 作業療法士 アクティビティ ディレクター)

松田 均 (岩手医科大学いわてどもケアセンター 主任作業療法士)

ふまねっととブローライフルを通して、促されて実践するリハビリではなく、自発的な行為としてのアクティビティをいかに実現するかを考えます。



15:30

15:45 **全体討論**

※日本作業療法士協会 SIG 認定「基礎ポイント：1ポイント」

16:20 **閉会挨拶 ふれあいランド岩手**

日本認知症ケア学会「認知症ケア専門士：3単位」(フォーラムのみ)

【共催】 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会

【後援】 一般社団法人岩手県社会福祉士会 一般社団法人岩手県介護福祉士会 一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人岩手県作業療法士会 一般社団法人日本認知症ケア学会

高齢者アクティビティ開発センターとは

1986年より高齢者のアクティビティについて研究・指導を重ね、書籍や講座を通してさまざまな情報を発信。芸術と遊びを中心とした生活介護をデザインし、高齢者、障害者の「心の栄養士」となる専門家の養成に力を注ぐとともに、芸術文化、遊び文化の創造による新しい高齢者ケア社会を提案している。

現在、「アクティビティ インストラクター」約6500名、上位資格の「アクティビティ ディレクター」650名が誕生し、全国各地で活躍している。（2016年9月現在）

アクティビティ インストラクター資格認定セミナーは、北海道・岩手・茨城・東京・長野・新潟・京都・福岡・長崎・熊本・沖縄など、全国各地で開催中！

アクティビティグッズ販売

要介護者の生活を豊かにし、リハビリやコミュニケーションツールとして活用されているアクティビティ・トイ。当センターが選定している「高齢者遊具100選」の中でも、特に人気の高いトイとアクティビティのアイデアが満載の関連書籍、美しく、優れた機能性が評判の「てまる」の介護食器を会場にてお求めいただけます。

ぜひこの機会に、お手にとってご覧ください。



お申し込み方法

【申込方法】①パソコンからのお申込み

高齢者アクティビティ開発センターホームページの「参加申込フォーム」からお申し込みください。
(HPアドレス：<http://www.aptycare.com/>)

②FAX・郵送でのお申し込み

下記申し込み書に必要事項を明記の上、FAX または、郵送で下記あて先へお送りください。

住所 福祉交流施設ふれあいランド岩手 担当：高橋
〒020-0831

岩手県盛岡市三本柳8地割1番3

FAX 019-637-7544

送信後、当館まで確認のお電話をいただければ幸いです。

電話 019-637-7444

※受講票は、開催一週間前を目途にお送りいたします。

【支払方法】 受講料は、当日、受付にてご入金をお願い致します。おつりがないうご協力をお願い致します。



2016年11月5日（土）・6日（日）参加申込書 締め切り：10月25日（火）

ふりがな 氏名		学校名 勤務先名	
連絡先（該当に○） 自宅・勤務先	電話番号	FAX番号	
住所 〒 -			
職 種（該当する番号に○） 1. 介護福祉士 2. 作業療法士 3. 理学療法士 4. 言語聴覚士 5. 管理栄養士 6. 看護師 7. 保育士 8. 社会福祉士 9. 精神保健福祉士 10. ホームヘルパー 11. ケアマネジャー 12. 生活相談員 13. 施設責任者 14. ボランティア 15. その他（ ）		業 種（該当する番号に○） 1. 特別養護老人ホーム 2. 有料老人ホーム 3. 介護老人保健施設 4. グループホーム 5. 在宅介護 6. デイサービスセンター 7. デイケアセンター 8. 病院 9. その他（ ）	
参加区分 該当する□にチェック☑	□ 11月5日（土）のみ	□ 11月6日（日）のみ	□ 2日間とも参加
□ 高齢者アクティビティ開発センター会員 □ アクティビティ ディレクター □ アクティビティ インストラクター □ おもちゃコンサルタント	8,300円 (再受講：3,000円)	2,000円	10,300円 (再受講：5,000円)
□ 一般（二日間参加の場合は割引料金）	8,300円	2,500円	10,300円
□ 学生	8,300円	1,500円	9,800円
フォーラム参加者の方：分科会選択欄 各回、1つずつ、参加希望の分科会に○をお願いします	分科会1 A・B		分科会2 C・D
希望欄（該当番号に○）1. 日本作業療法士協会 基礎ポイント申請希望（作業療法士の方該当：1日1ポイント/両日2ポイント） 2. 日本認知症ケア学会 認知症ケア専門士単位申請希望（認知症ケア専門士の方該当：フォーラムのみ3単位）			

■注意事項・本申込書記載の個人情報、共催者と主催の高齢者アクティビティ開発センターの共有とし、セミナー後、パンフレット等をお送りする場合がございます。